

明 細 書

電子アルバムを作成するための記録媒体

5 技術分野

本発明はユーザが観光旅行をしたとき等のオリジナルの電子アルバムを作成するのに使用して好適な記録媒体及び電子アルバム作成装置に関する。

10 背景技術

従来、例えば観光旅行をしたときに、自分で撮影した動画や静止画に、自分で撮影できなかった有名な名所の画像や撮影禁止の絵画の画像を付け加えて編集し、自分でオリジナルの電子アルバムを作成したいときは、観光地で売られている観光情報が記録されたビデオテープやC D - R O Mやインターネット等から自分で情報を探し出してコピーや編集をしたり、絵葉書や市販のスライド、ガイドブック等から画像を電子化して取り込んだりしていた。

特開 2 0 0 2 - 3 5 8 3 1 0 号公報には、自分で電子アルバムを作成するのではなく、事業者が自動でイベント情報に基づいた魅力的なコンテンツを取得し魅力のあるオリジナルアルバムを作成するものにつき記載されている。

然しながら、従来は自分でオリジナルの電子アルバムを作成するときには観光情報が記録されたビデオテープやC D - R O Mやインターネット等から自分で情報を探し出してコピーや編集をしたり、絵葉書や市販のスライド、ガイドブック等から画像を電子化して取り込んだりする必要があり、自分でオリジナルの電子アルバムを作成するのが極めて複雑

で困難である不都合があった。

発明の開示

本発明は斯かる点に鑑み比較的簡単に自分でオリジナルの電子アルバム
5 ムを作成することができるようにすることを目的とする。

本発明記録媒体は観光地に関連してユーザが自作の電子アルバムを作成するための素材情報とプログラムが記録された記録媒体であって、この素材情報は、この観光地に関連する文章、画像、音声、地図等の情報を位置、日時等の条件情報を付加して記録されると共にこのプログラム
10 はユーザが用意した画像等に記録された位置、日時等の条件情報に関連する素材情報を自動的に又は選択可能に表示するようにされているものである。

斯かる本発明記録媒体によれば観光地に関連する文章、画像、音声、地図等の情報に位置、日時等の条件情報を付加したので、文章、画像、
15 音声、地図等の情報をこの位置、日時等の条件情報により検索することができ、簡単に所望の情報を得ることができ、比較的簡単に自分でオリジナルの電子アルバムを作成することができる。

図面の簡単な説明

20 図 1 は、本発明電子アルバム作成装置を実施するための最良の形態の例の説明に供するシステム図である。

図 2 は、本発明の説明に供するフローチャートである。

図 3 は、本発明の説明に供する線図である。

図 4 は、本発明の説明に供する線図である。

25 図 5 は、本発明の説明に供する線図である。

図 6 は、本発明の説明に供する線図である。

図 7 は、本発明電子アルバム作成装置の例を示す構成図である。

発明を実施するための最良の形態

以下図面を参照して本発明記録媒体及び電子アルバム作成装置を実施
5 するための最良の形態の例につき説明する。

図 1 は電子アルバム作成システムの構成例を示す。図 1 において、1
はユーザが例えばある観光地に旅行したときに携帯した電子カメラを示
し、この電子カメラ 1 は観光地等における所望の被写体を撮影し、動画
及び静止画の電子画像を得る如くしたものである。

10 またこの電子カメラ 1 はこの撮影した観光地等の画像にこの撮影場所
(位置)、撮影日時を関連して記録する如くする。この場合この電子カ
メラ 1 には、着脱可能な記録媒体が装着できる如くなされ、この記録媒
体に記録手段により撮影した画像と撮影場所(位置)、撮影日時とを関
連付けて記録できる如くす。

15 撮影場所(位置)情報としては、ユーザが携帯している携帯電話や P
H S 等が、相互に通信を実施する基地局の位置情報に基づいて得られる
現在位置情報や、G P S 等を用いて取得される現在位置情報を使用する
ことができる。

図 1 において 2 は観光地において、土産店等 3 で販売されている観光
20 地に関連する文章、画像、音声、地図等の情報が記録されている記録媒
体を示す。

本例においてはこの記録媒体 2 に記録されている文章、画像、音声、
地図等の情報に位置、日時等の条件情報を付加して記録する如くする。

本例においてはユーザはこの記録媒体 2 を観光地の土産店等 3 で購入
25 する如くする。この記録媒体 2 は観光情報提供サービス事業者 4 が作成
し、この記録媒体 2 を観光地の土産店等 3 に納入し、この観光情報提供

サービス事業者 4 はこの観光地の土産店等 3 より対価（支払い）を受けている。

また、この観光情報事業者 4 は、この記録媒体 2 に記録した文章、画像、音声、地図等の情報を情報アップデートサービスサーバ 4 a に書き込む如くする。

本例においては、この記録媒体 2 に I D（識別番号）を付加しておき、この記録媒体 2 の購入者（ユーザ） 5 がこの I D を用いネットワーク 6 を介してこの情報アップデートサービスサーバ 4 a に接続したときにこの I D を判別し、この I D が確認されたときには、この記録媒体 2 の購入者はこの記録媒体 2 に記録された情報の最新情報の提供をこのネットワーク 6 を介して受けることができるようにする。

次に図 2 のフローチャートを使用しユーザ 5 が自分で電子アルバムを作成する手順につき説明する。

先ず電子アルバム作成装置を構成するパーソナルコンピュータ 10 に電子カメラ 1 で自分がある観光地で撮影した動画、静止画の電子画像を入力（ハードディスク H D 等）し記憶する（ステップ S 1）。

次にこのパーソナルコンピュータ 10 にユーザ 5 がある観光地の土産店等 3 で購入した観光情報が記録されている記録媒体（例えば C D - R O M） 2 を読み出せるようにセットする（ステップ S 2）。

次に観光情報を最新のものにしようかどうかを判断する（ステップ S 3）。観光情報を最新のものを使用しないときにはステップ S 4 に移行し、記録媒体 2 に記録されている希望する観光情報の種類を選択する。

このステップ S 3 で観光情報を最新のものとするときには、このパーソナルコンピュータ 10 をネットワーク 6 経由で観光情報提供サービス事業者 4 の情報アップデートサービスサーバ 4 a に接続し、この記録媒体 2 の I D を確認し、このユーザ 5 はこの記録媒体 2 に記録されている

文章、画像、音声、地図等の最新情報の提供を受け、この最新情報をパーソナルコンピュータ 10 のメモリに記憶し（ステップ S 5）、その後ステップ S 4 に移行する。

このステップ S 4 においては、パーソナルコンピュータ 10 の画面に
5 例えば図 3 に示す如きメニューを表示し、ユーザ 5 が自分の撮影した動画、静止画の電子画像に追加したい情報の種類を選択する。

例えば画像情報、文章情報、地図、ナレーション情報、音楽、その他が選択でき、画像情報として観光地の建物画像、観光地風景画像、特殊イベント（お祭り等）画像、観光地その他の画像、その他が選択でき、
10 文章情報として、観光地名所情報、エピソード、その他が選択でき、ナレーション情報として観光地名所情報、その他が選択でき、また音楽として地域音楽、テーマ、雰囲気毎に選択できる。

このステップ S 4 で観光情報の種類を選択したときには、ユーザ 5 が撮影した撮影画像に位置情報、日時情報が含まれているかどうかを判断
15 する（ステップ S 6）。ユーザ 5 が撮影した撮影画像に位置情報、日時情報が含まれているときには、この位置情報、日時情報に関連した記録媒体 2 に記録されている図 4 に示す如き詳細観光情報リストを表示する（ステップ S 7）。

ステップ S 6 でユーザ 5 が撮影した撮影画像に位置情報、日時情報が
20 含まれないときには、位置情報、日時情報を選定し（ステップ S 8）、ステップ S 7 に移行しこの位置情報、日時情報に関連した記録媒体 2 に記録されている図 4 に示す如き詳細観光情報リストを表示する。

次にこの詳細観光情報リストより希望の観光情報を選択する（ステップ S 9）。次にこの選択した希望の観光情報の内容を確認するかどうか
25 を判断し（ステップ S 10）、確認するときは、ステップ S 11 に移行して、この選択された観光情報の再生を行ない、この観光情報の確認を

行ない、その後ステップS 9に戻る。

このステップS 1 0で希望の観光情報の内容を確認しないときには、ステップS 1 2に移行し、選択情報はこの項目でいいかを判断する。このステップS 1 2で、選択情報がこの項目で悪いときには再びステップ

5 S 9に戻り、希望の観光情報を選択する。

このステップS 1 2で選択情報がこの項目でよいと判断したときにはステップS 1 3に移行し、自分（ユーザ5）のコメント、タイトルを追加するかどうかを判断する。自分のコメント、タイトルを追加するときにはコメントまたはタイトルを入力する（ステップS 1 4）。

10 このステップS 1 4でコメントまたはタイトルを入力した後ステップS 1 5に移行する。このステップS 1 3で自分のコメント、タイトルを追加しないと判断したときにはステップS 1 5に移行する。このステップS 1 5に移行する。このステップS 1 5においては、この編集のシミュレーションを再生するかどうかを判断する。

15 このステップS 1 5でシミュレーション再生すると判断したときにはステップS 1 6に移行し編集シミュレーション再生を行なう。その後、編集結果はこれでいいかが判断される（ステップS 1 7）。この編集結果が悪いと判断されたときにはステップS 9に戻り、希望の観光情報を選択する。

20 このステップS 1 7で編集結果はこれで良いと判断したときにはステップS 1 8に移行する。またステップS 1 5で編集のシミュレーション再生をしないと判断したときも、ステップS 1 8に移行する。このステップS 1 8では電子アルバムの編集製作された電子アルバムを新たな記録媒体、即ちDVD-R、DVD-RW、DVD+RW、DVD-ROM

25 M等のDVD、CD-R、CD-RW等のCD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク等の記録メディアに記録し、この電子アルバムの作成

を終了する。

図 5 及び図 6 は夫々編集した電子アルバムの再生画面の例を示す。

図 5 の再生画面の例は自分で撮影した画像 G 1 とその観光旅行地方名所の画像 G 2、その地方の画像 G 3、地図 G 4、乗り物 G 5、きれいな
5 景色 G 6 等をアレンジしたものである。

図 6 の再生画面の例は自分の撮影した画像 G 1 の大画像の下側に観光旅行地の地図、インフォメーション、ランドマーク、ランドスケープの小画像を配置するようにしたものである。

本例は上述の如く観光地で販売する観光地に関連する文章、画像、音
10 声、地図等の情報が記録された記録媒体にこの観光地に関連する文章、画像、音声、地図等の情報に位置、日時等の条件情報を付加したので、この文章、画像、音声、地図等の情報をこの位置、日時等の条件情報により検索することができ、簡単に所望の情報を得ることができる。

また本例によれば記録媒体の I Dを確認することにより、この記録媒
15 体に記録された情報の最新情報の提供をネットワークを介して受けることができる。

また本例の電子アルバム作成は位置、日時等の条件情報を使用するので観光情報の検索が簡単となり、比較的簡単に自分でオリジナルの電子アルバムを作成することができる。

20 上述例はパーソナルコンピュータ 10 を電子アルバム作成装置としたが、この代わりに図 7 に示す如き、専用の電子アルバム作成装置を使用しても良い。

図 7 につき説明するユーザ 5 は、まずある観光地で電子カメラ 1 を使用して撮影した動画や静止画の電子画像を、マイクロコンピュータ等より
25 り成る中央制御部 20 の指示に従い電子カメラ 1 の記録媒体より読み込み・書き込み部 21 を介して読み込みメモリ 22 に記憶すると共に観光

地で購入した観光地の情報が記録されたCD-ROM等の記録媒体2からこの観光地情報を読み込み・書き込み部21を介して読み込み、メモリ22に記憶する。図7において、23は表示部である。

その後、この電子アルバム作成装置は図2のフローチャートに従って電子アルバムを作成する。そして編集して作成された観光情報が付加された電子アルバムを読み込み・書き込み部21を介して新たな記録媒体、即ちDVD-RやDVD-RW、DVD+RW、DVD-ROM等のDVD、CD-RやCD-RW等のCD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク等に記録する。

この場合、電子カメラ1により記録した記録媒体に追記もしくは上書きして記録するようにしても良い。

またこの場合、電子カメラ1の記録媒体よりの撮影画像及び記録媒体2よりの観光情報の読み込みを必要に応じてその都度行なっても良いし、編集後の記録媒体への書き込みを必要に応じて、その都度行なっても良い。

また図7例で読み込み・書き込み部21を2つ設け、一方に電子カメラ1の記録媒体を装着し、他方に観光地情報の記録された記録媒体2を装着するようにしても良い。このようにすることにより装着した記録媒体を編集が終わるまでいちいち装着しなおす必要がなくなる。

ところで、実際にビデオ編集するときにおいて、一番手間と時間がかかるのはオープニングの映像、即ち出だしの部分である。例えば、観光旅行で撮影したビデオの冒頭において、その観光地の一番有名な場所と「フランス旅行」等のタイトルを重ね、これに背景音楽とともに映し出すようにすると、いかにも本格的に編集されたビデオと見えるものである。

本例では、記録媒体に素材情報として、予め編集された複数のオープ

ニングの映像が位置、日時等の条件情報を付加して記録されており、ユーザは図3の希望観光情報の種類選択と同様に画面上に表示され選択可能に構成されており、または、ユーザの映像の条件情報により選択されて表示することが可能となっている。

- 5 そして、この出だしのビデオの後に続けて、ユーザの撮影した映像、すなわちビデオ映像の場合には適当な背景音楽と共に映し出し、静止画映像の場合は所謂スライドショー的に順次に背景音楽と共に映し出される。このようにすると、違和感のない丁寧な編集が済んでいるような電子アルバム、またはビデオアルバムを見ている感じとなるものである。
- 10 そして、ユーザの撮影した映像を順次時系列に従い映し出す途中に、その場所や日時に適した「名所紹介」や「お国自慢」等をナレーションや音楽とともに、所謂番組中にコマーシャルを入れる感じで挿入される。すると、より盛り上がったものとなり、楽しく映像を見ることが出来る。更に、エンディングの映像、即ち最後の部分においても、複数の素材情報
- 15 が用意され、出だしの部分と同様なことができるようになっている。

尚、本発明は上述例に限ることなく本発明の要旨を逸脱することなく、その他種々の構成が採り得ることは勿論である。

産業上の利用可能性

- 20 本発明によれば比較的簡単に自分でオリジナルの電子アルバムを作成することができる。

請求の範囲

1. 観光地に関連してユーザが自作の電子アルバムを作成するため素材情報とプログラムが記録された記録媒体であって、

5 上記素材情報は、上記観光地に関する文章、画像、音声、地図等の情報を位置、日時等の条件情報を付加して記録されると共に、

上記プログラムは、ユーザが用意した画像等に記録された位置、日時等の条件情報に関連する素材情報を自動的に、又は選択可能に表示するようにされていることを特徴とする記録媒体。

10 2. 請求項 1 記載の記録媒体において、

上記素材情報には複数のオープニングの映像が上記条件情報を付加して記録されていて、上記プログラムによりユーザの条件情報に関連して自動的に、又は選択可能に表示するようにされていることを特徴とする記録媒体。

15 3. 請求項 2 記載の記録媒体において、

上記プログラムにより上記オープニングの映像に引き続いて、ユーザが用意した画像等が時系列に沿って表示するようにされていることを特徴とする記録媒体。

4. 請求項 1 記載の記録媒体において、

20 前記記録媒体の ID（識別番号）を該記録媒体に付加するとともに、

前記 ID によってネットワーク上で前記記録媒体に記録された情報の最新情報の提供を受けることができるようにしたことを特徴とする記録媒体。

5. ユーザが撮影した画像情報と請求項 1 の記録媒体の情報とを使用
25 すると共に前記条件情報を使用して編集するようにしたことを特徴とする電子アルバム作成装置。

1/7

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

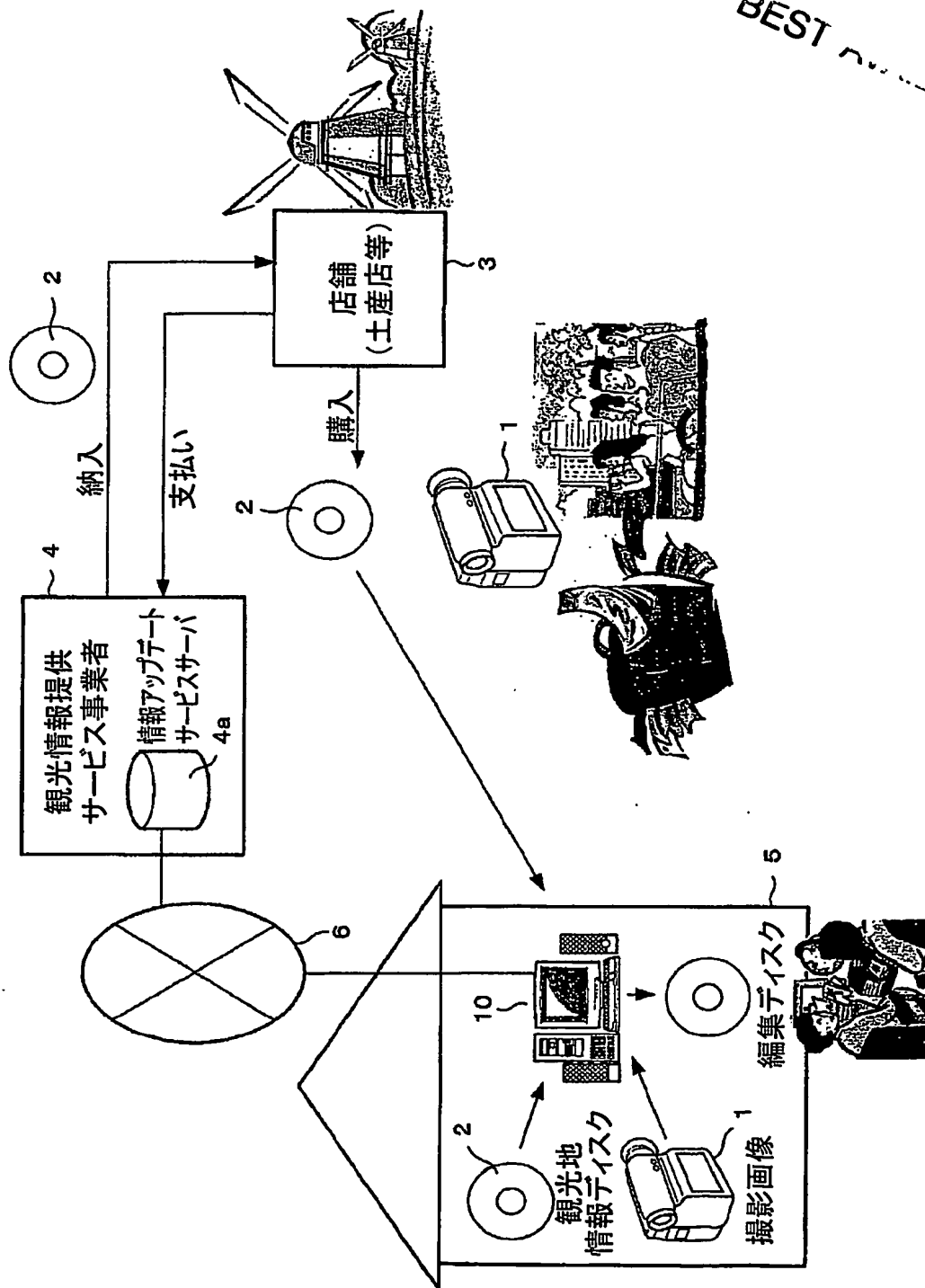


Fig.1

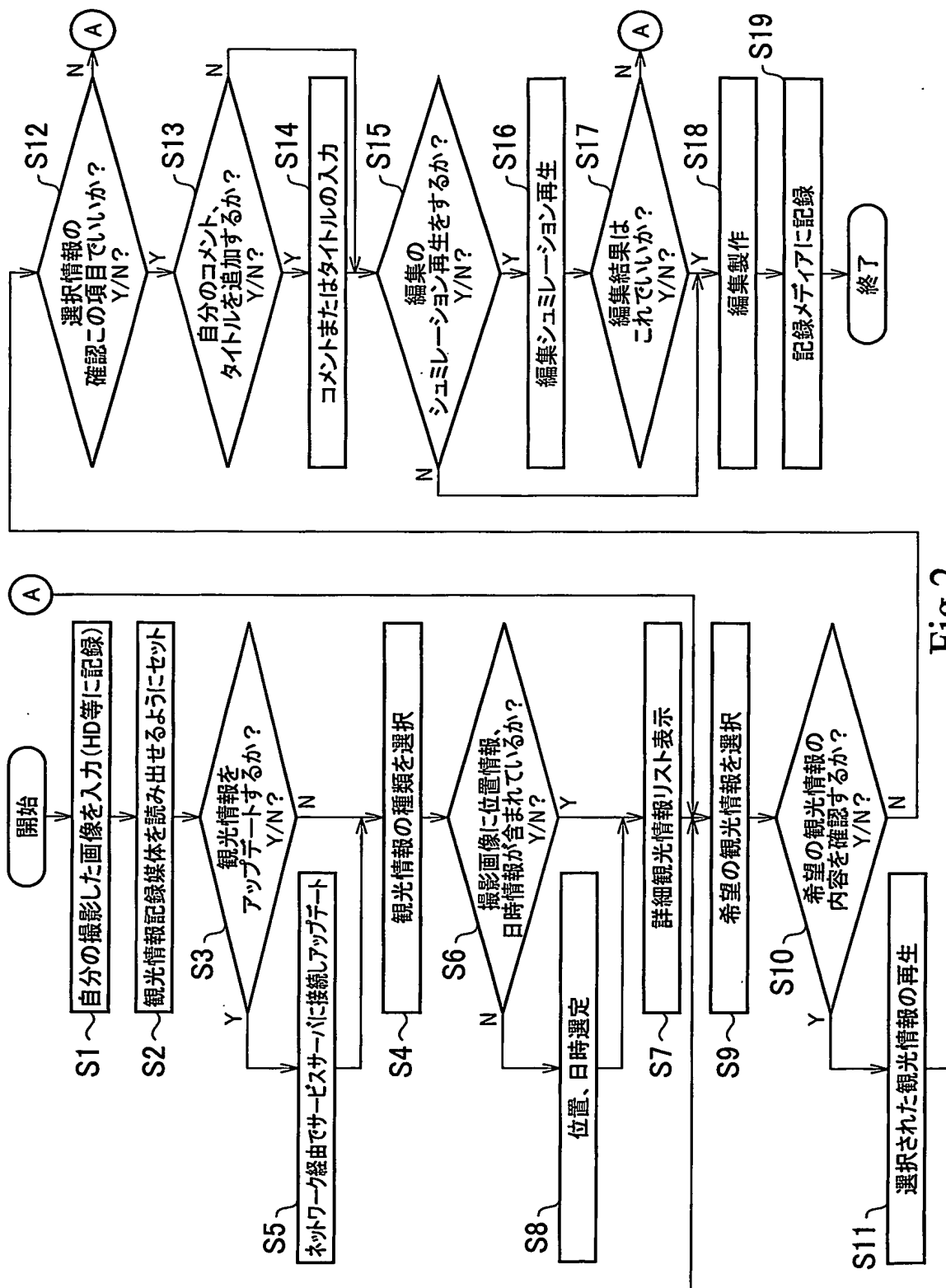


Fig.2

希望観光情報 種類選択

追加したい情報 種類選択

<input type="checkbox"/> 画像情報	<input type="checkbox"/> 地図
<input type="checkbox"/> 観光地 建物画像	<input type="checkbox"/> ナレーション情報
<input type="checkbox"/> 観光地風景画像	<input type="checkbox"/> 観光地・名所情報
<input type="checkbox"/> 特殊イベント(お祭り等)画像	<input type="checkbox"/> エピソード
<input type="checkbox"/> 観光地 その他 画像	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 文章情報	<input type="checkbox"/> 音楽
<input type="checkbox"/> 観光地 名所画像	<input type="checkbox"/> 地域音楽
<input type="checkbox"/> エピソード	<input type="checkbox"/> テーマ、雰囲気 毎に選択
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他

Fig.3

下記の情報が、あります。
ご希望のものにチェックして選択してください。

	情報の種類	観光地名1	観光地名2	情報タイトル	撮影日時						天気 情報	ファイル フォーマット
					年	月	日	時	分	季節		
<input type="checkbox"/>	静止画	ローマ遺跡	コロッセウム	全景	1998	4	8	11	15	春	昼	JPG
<input type="checkbox"/>	静止画	ローマ遺跡	フォロロマーノ	××宮殿	2002	10	25	12	23	秋	昼	JPG
<input type="checkbox"/>	動画	フィレンツェ	ドォーモ	ドォーモの日の出	2003	1	5	7	35	冬	早朝	MPG2
<input type="checkbox"/>	静止画	シチリア島	エトナ火山	エトナ火山噴火	2001	-	-	-	-	冬	-	JPG
<input type="checkbox"/>	音楽	イタリア		イタリア民謡01	1958	-	-	-	-	-	-	MP3
<input type="checkbox"/>	地図	フィレンツェ		フィレンツェ詳細地図	1958	-	-	-	-	-	-	JPG

サンプルを見る/聞く

現在までに選択された情報の総量と価格
計 3ヶの情報が選ばれています。データ総量 125MByte

選択し終わったら 次へ

次へ進む

Fig.4

BEST AVAILABLE COPY

5/7

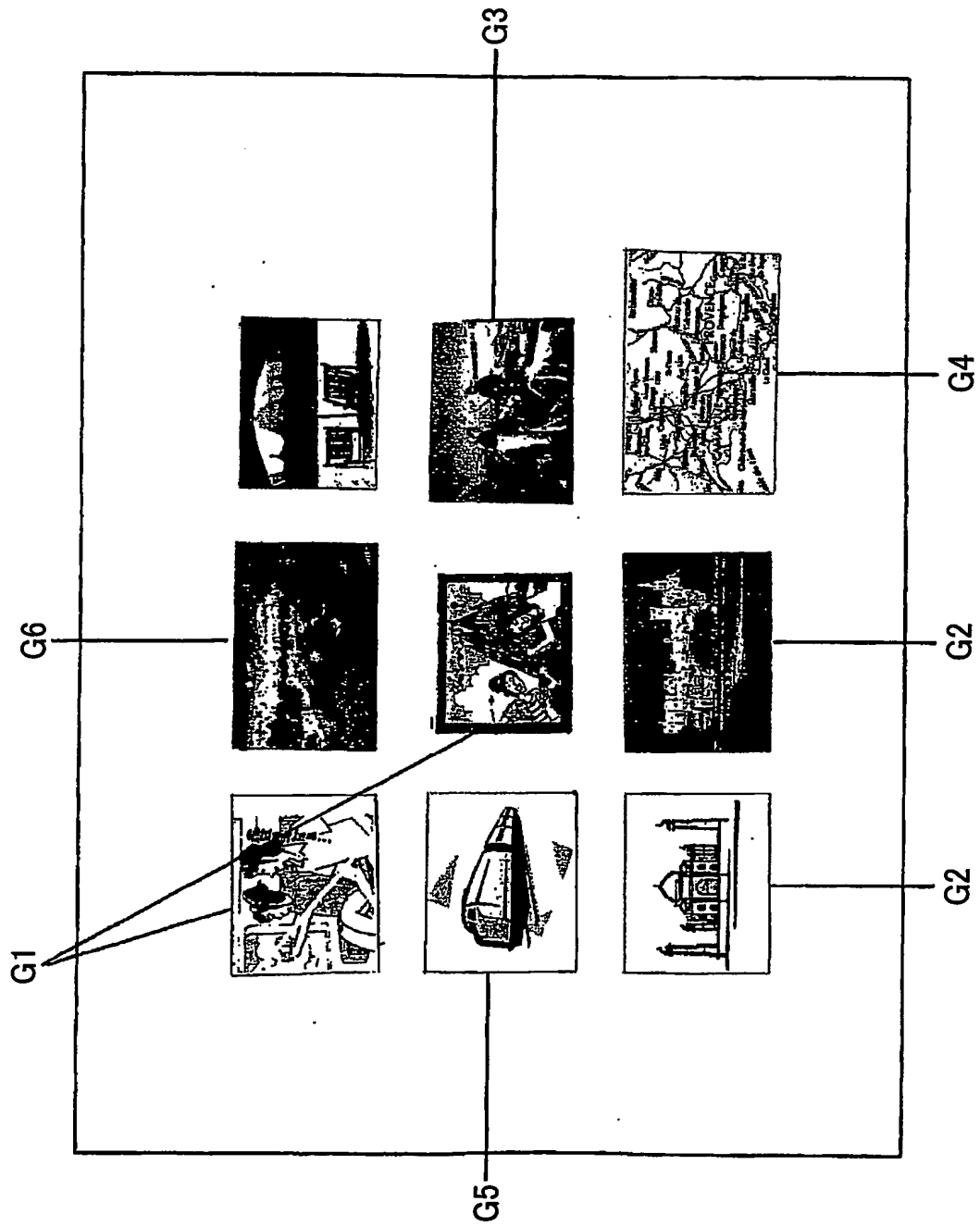


Fig.5

BEST AVAILABLE COPY

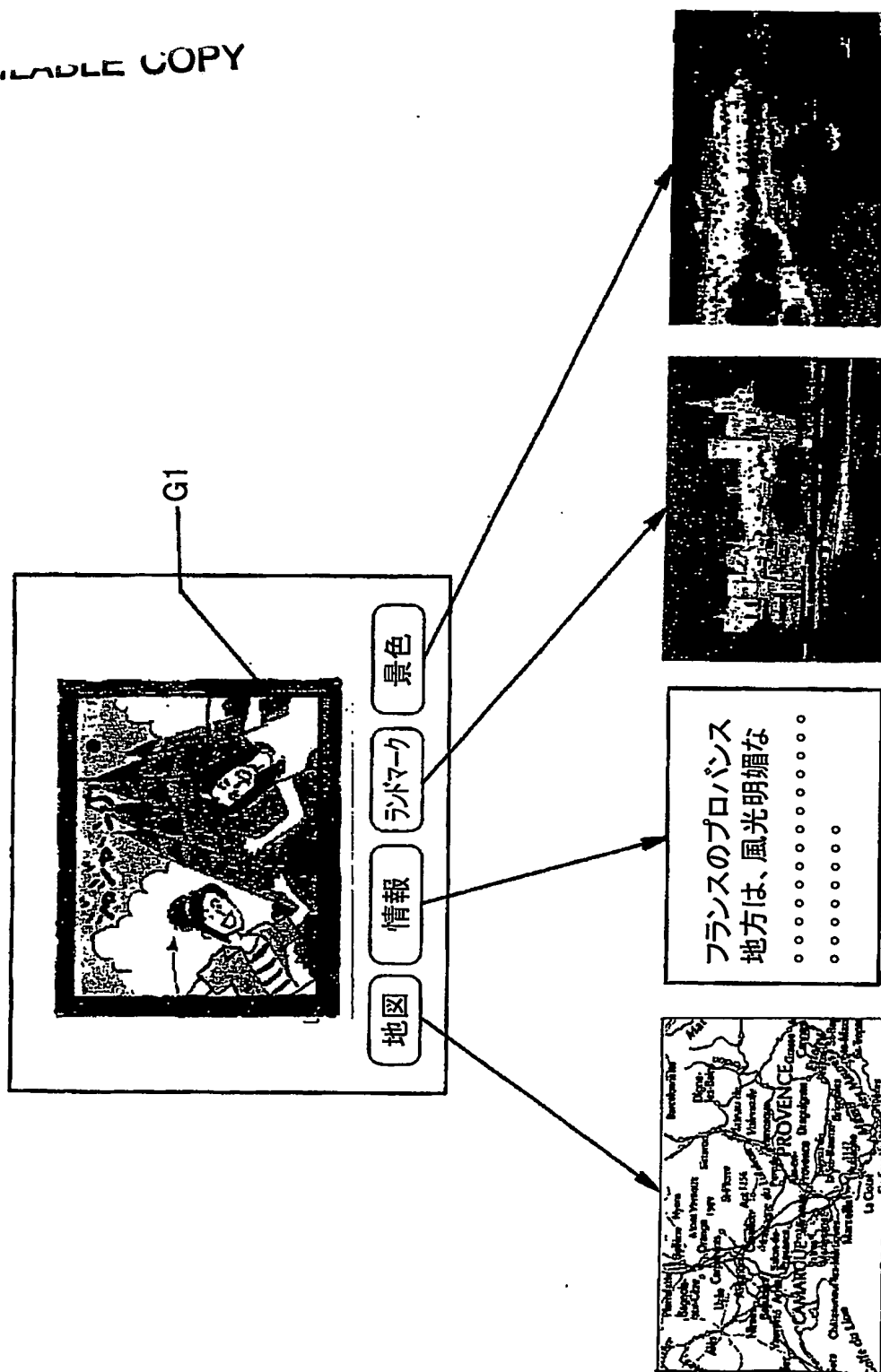


Fig.6

7/7

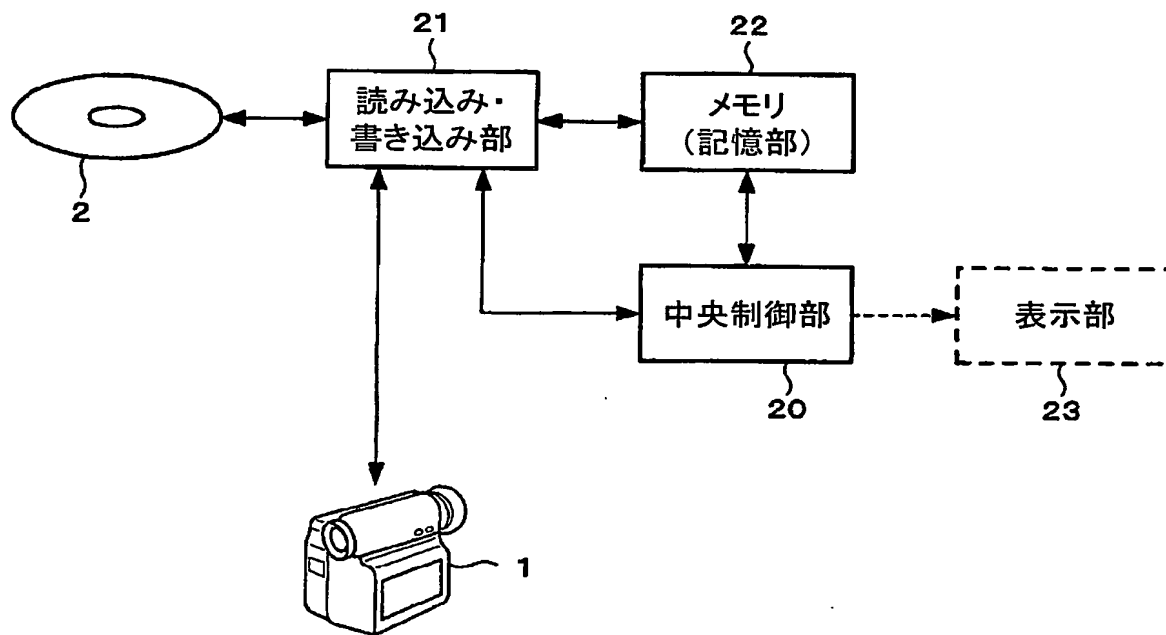


Fig.7

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/016068

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/30

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2001-229166 A (Sony Corp.), 24 August, 2001 (24.08.01), Par. Nos. [0065] to [0079] (Family: none)	1, 5 2-4
Y	JP 2003-85265 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 20 March, 2003 (20.03.03), Par. Nos. [0022] to [0027] & US 2003/51207 A1	2-3
Y	JP 2000-311084 A (GYO Shuho), 07 November, 2000 (07.11.00), Par. No. [0002] (Family: none)	4

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
16 November, 2004 (16.11.04)

Date of mailing of the international search report
30 November, 2004 (30.11.04)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/016068

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2003-143329 A (NTT Communications Kabushiki Kaisha), 16 May, 2003 (16.05.03), Par. Nos. [0028] to [0029] (Family: none)	1

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2001-229166 A (ソニー株式会社) 2001.	1, 5
Y	08. 24, 段落【0065】 - 【0079】 (ファミリーなし)	2-4
Y	JP 2003-85265 A (松下電器産業株式会社) 200	2-3
	3. 03. 20, 段落【0022】 - 【0027】 & US 200	
	3/51207 A1	
Y	JP 2000-311084 A (魚 秀奉) 2000. 11.	4
	07, 段落【0002】 (ファミリーなし)	

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

16. 11. 2004

国際調査報告の発送日

30.11.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

田川 泰宏

5M

3465

電話番号 03-3581-1101 内線 3597

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 2003-143329 A (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ) 2003.05.16, 段落【0028】-【0029】 (ファミリーなし)	1